

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				令和7年 2月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		雨の日でもフラストレーションがたまらないよう走り回ったりボール遊び等ができる広さになっている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		児発管1 児童指導員1 保育士1 非常勤保育士2名 その他非常勤1名		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		全面バリアフリーになっており、大型スクリーンで情報伝達をしたり、環境上の配慮はできている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		生活空間では室内空気洗浄機等もあり、ガラス張りで日当たりもよく子どもたちがのびのびと活動できる空間になっている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		いつでも個別の部屋を利用でき、子どもの特性に合わせた環境になっている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		職員は目標と振り返りを会議の場でも行っており自己評価などでも広く職員が参画している		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者からの評価は全職員で内容を公表し業務改善につなげている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会議ではヒヤリハット報告等も含めて業務報告等を行い、情報共有を図っている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		第三者評価にも参加しながら評価結果を報告しながら業務改善に繋げている		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内での研修を含め、県外研修等も確保されており参加している		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムはホームページにて公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		個々のアセスメントは保護者、学校等の意見等を含めあらゆる情報を基に作成している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画作成に関しては、全職員で情報共有し、ケース会議等で検討している		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画や相談員さんからの計画案等は全ての情報は職員間で共有し、計画通り支援を行っている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントシートを活用し、日々の行動観察、学校での情報等を確認しながら適応行動を把握している		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		本人、家族、移行、地域支援の総合的に内容を踏まえながら具体的に支援内容を設定している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動や行事に関しては職員全員で話し合いを設けて日程等も決めている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		個々のプログラム、小集団プログラム等固定化しないように行事なども子どもたちの意見も含めて決めている		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		自分で選択し自分で決めて自分で取り組むよう基本的に自分で考え行動できるよう支援を行っている		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼等で打ち合わせを行い、その日の内容を確認し、非常勤も合わせて何をするか連携して支援を行っている		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援後は職員間で打ち合わせを行い、反省会等を設けてその日の振り返りを行っている		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の記録の中で、声かけや支援の改善等を会議にあげて職員間で話し合い必要な支援に繋げている		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリングに関しては学校の担任、保護者からの聞き取りを行い、見直し等があれば相談員とも情報共有を行い見直しを行う		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		地域交流を含め、子ども達がやりたいという気持ちを大切に基本活動や行事等を組み立て支援している		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自分たちで選択し、自分で決めて最後までやりとげる事を目標に考えて行動する事を基本としている		

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管をはじめ、指導員や保育士等毎日関りがある職員が会議には参画している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		医療関係やその他関係機関との連絡会や会議等に参加して連携を図っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校と保護者と情報共有を行い、常に連絡調整ができるようにしている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		相互理解の為に保育園や学校でケース会議を行って情報共有を図っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		移行する場合、移行支援会議等を設けて情報提供を行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		連携までは図っていないので今後必要に応じて連携を図り研修等も取り入れていけるようにしていきたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域の子どもたちと公園等で遊んだり、活動する機会を設けており、交流を図っている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		協議会や連絡会などには積極的に参加し情報共有している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日頃から保護者には記録を見て頂きながらコメントをもらい、共通理解を図っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		家族支援のための研修等を日程調整しながら周知しているが、なかなか集まる事が困難であるのでオンライン等で工夫していくようにする
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		担当者会議等で説明を行っている。個別でも保護者に家庭訪問等を行い、説明している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		子ども達や保護者からは意見を聞き、どうしていきたいのか等をまとめて話し合いの場を設けている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		保護者には計画等すべての書類には目を通していただきながら同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		携帯電話、システムのメール等で相談に応じ業務用携帯では24時間相談を受け付け支援を行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会や交流会などは開催し、行事にも参加できるよう交流の場を設けている	保護者会や交流会、行事などは日程が合わないことや、仕事で来れない方が多くオンライン等も活用できるよう工夫していく必要がある
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情に関しては職員と情報共有しながら対応を1本化しており、迅速に対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的に活動報告書を発行し保護者にはお配りしている。またInstagram等で活動内容を公開している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いについては事前に説明し同意書にサインを頂いている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		手紙等、視覚的にわかり易く具体的に情報をまとめて、なお個別にも手紙やメール等で伝えるようにしている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		行事等は地域の子ども会等を活用しながら交流を図っている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを基に訓練を実施し、保護者にも写真等や記録で周知している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPの内容通りに訓練を行い非常災害時の動向などを確認している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		事前に服薬依頼書等で確認をしており、保護者にも担当者会議等で情報共有できている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		事前に担当者会議などでアレルギーなどを保護者に確認している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画をもとに研修や訓練などを行って管理された中で支援を行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全確保に関しては緊急連絡等を保護者に事前に聞いており、万が一の場合はすぐに連絡がとれるようにしている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事故処理、ヒヤリハット報告書等を作成し職員全体で共有し、再発防止に取り組んでいる	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止をの研修等法人内での研修に参加している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束は原則禁止としている。万が一の場合は事前にお伝えしながらすぐに保護者へ連絡をするように対応している	